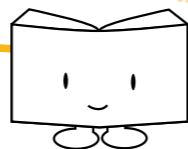


つやまっ子に贈る100冊の本



つやまっ子読書プランキャラクター「ぶっくちゃん」

あきらめず、頑張る力



推薦者
田渕 由紀さん
(中島)

子どもと一緒に見ていたテレビ番組で知った病氣と闘う女の子、重實カンナちゃん。カンナちゃんの本が出版されることを知り、読みたがった我が子に買い与えたのが『**カンナちゃんの奇跡**』です。

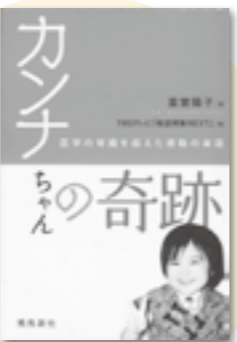
カンナちゃんは3歳の時、命と引き換えに声を失ってしまいます。しかし、医学の常識を超えて、クリスマスイブの夜に声が出せるようになる奇跡が起きます。

この本を読んだ当時、小学3年生だった我が子は、自分より小さなカンナちゃんが、絶対にあきらめないで、病気に立ち向かう姿に、

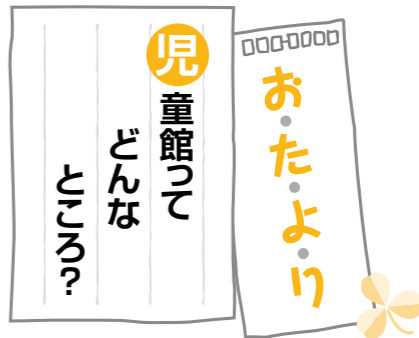
ただひたすら「すごい、すごい」と感心していました。

子どもの大病のニュースはまれに報道されていますが、いつ自分たちが同じ立場になるか分かりません。また、病氣や障害のある子どもと自分の子どもとが関わりを持つことがあるかも分かりません。

この本は「あきらめず、頑張る力」の大切さを教えてくれます。そして、わたしたちが病氣や障害のある人たちと、どのように接していけば良いかを考えるきっかけになる本だと思います。



「**カンナちゃんの奇跡**」
重實 陽子 著
(飛鳥新社)



わたしは児童館を利用したことがないのですが、児童館はどんな人が利用できて、どんなことができるのかなのですか？(堀坂・女性)

児童館はさまざまな遊びを通じて、子どもの健康を増進し、感情を豊かにするための施設です。対象年齢は0歳から18歳までです。小学校就学前の子どもの場合は、保護者が付き添って来てください。

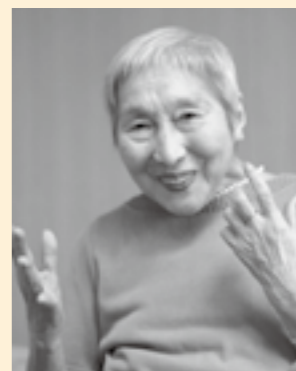


児童館の中では卓球や一輪車、トランポリンなどで体を動かしたり、オセロ、将棋、けん玉などで遊んだりすることもできます。外の公園ではブランコ、すべり台、砂場などで遊べます。親子を対象とした集いや、工作や料理作りに挑戦したり、おたのしみ会などのイベントを行ったりしています。毎月のイベントのお知らせは広報つやまにも掲載しています(今月は18ページで紹介)。市内には4つの児童館があります。各児童館によって遊び道具や行っているイベントが異なるので、詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先 中央児童館 (山北) 022-2099、ワイワイ児童館(横山) 024-4400、くりむ児童館(加茂町中原) 042-3168、阿波児童館(阿波) 046-2076

きらめく津山人

百歳でライブがしたい



片山 花江さん(二階町)

第8回津山国際総合音楽祭のまちかどコンサートで94歳ながらソロで自作の歌を披露した片山さん。音楽に対する思いと元気の秘訣を伺いました。

歌を始めたきっかけは？

わたしの母は、歌うことが大好きで、よく歌っていました。幼い頃から母が歌う歌を聞いて、そのうち歌詞も覚え、楽譜を見て、一人でも歌えるようになっていました。そんな家庭だったので、自然に歌が好きになりましたね。

女学生(現在の中学生)の時、バイオリンを習い始めました。

運動も好きで、ハードル競技もやっていました。大学は東京音楽学校(現在の東京芸術大学)のバイオリン専科に通い、大学時代はスケートや水泳にも夢中になりましたね。また、服飾の学校にも通いました。いろいろな事に挑戦させてくれた親には本当に感謝しています。

東京で結婚して、終戦後、津山に戻って来てからも独学で歌っていました。でも、本格的に歌を勉強してみたいと思い、55歳の時、作陽音楽大学の聴講生として、音楽を学びました。また、作曲も始めました。

どれくらい作曲したのですか？
50曲以上作ったと思います。作詞は全てロマンチストだった夫がしてくれました。詞を読んでも、少しづつ思い浮かんだメロディをつなげ、曲を作っていきます。夫の詞があったからたくさん曲が作れたのだと思っています。夫には心の底から感謝



▲まちかどコンサートで美声を披露する片山さん

しています。
今回の音楽祭で、わたしの作った歌を披露できました。皆さんとても温かく聴いてくれたので、嬉しかったです。
元気の秘訣は？
自分が一番好きなことをすることです。わたしの場合は歌ですが、ほかにも気を付けていることがあります。毎日、バランスの取れた食事によること。適度な運動をすること。それと、趣味を持つことです。いつまでも意欲的に趣味に取り組んで、上達した時の喜びを味わうことが大切なことだと思っています。今後の目標は？
百歳でライブをすることです。

今でも歌うことができるのは周りの人みんなのおかげです。そして、みんなが住みやすく、まちなかが昔のようなにぎわいのある津山になってほしいと思っています。
会話に笑顔が絶えない片山さん。感謝の気持ちをお話する時、必ず合掌をする姿が印象的でした。これからも元気でいつまでも美声を聞かせてほしいですね。

玉置 隆也さん(小原)

第32回全日本マスターズ陸上競技選手権大会300メートル障害 優勝



8月に和歌山市で開催された「第32回全日本マスターズ陸上競技選手権大会」の300メートル障害で見事、優勝を飾りました。

大学から本格的に陸上を始め、ハンドボール部に所属していた高校時代から、毎朝のランニングを欠かさない玉置さん。「若い頃から走ることが好きで、今も健康づくりのため走り続けています。いろいろな大会を通じて全国に仲間ができることも続けられる理由の一つです。来年は岡山で開催されるので、もう一度、表彰台を目指したい」と語ってくれました。このほか、棒高跳びでも準優勝に輝いています。